

平成28年度全国及び岡山県学力・学習状況調査 結果と今後の取組について

津山市立向陽小学校

教育目標(めざす児童生徒像)

心豊かでたくましく生きる子どもの育成

【めざす子ども像】 よく考える子 助け合う子 元気な子

今年度の指導の重点

成功体験を味わわせ自己肯定感を高める指導の徹底(向陽プライド)

- (1)学ぶ意欲の育成と学力向上 ○学習規律を確立させ、基礎学力の定着を図る。○「聞く・書く・話す」力を身につけさせる。
- (2)心の教育の充実 ○基本的な生活ルールを身につけさせる。○協力・協働場面を多く取り入れ、人間関係力・自己有用感を高める。
- (3)体力向上と健康増進 ○運動の機会を充実させ、体力・運動能力の向上に努める。○基本的な生活習慣の確立をめざす。

調査結果について(調査結果において明らかになったこと)

【学力状況調査の結果】

- 全国(小学校)
- 国語Aについては、県平均と比べると正答率が高く、算数Aについては、県平均より低い。
  - 国語B、算数Bについては、県平均と比べると正答率は低い。
  - 国語Aの「話すこと・聞くこと」領域については9割程度が理解できているが、国語Bの「話すこと・聞くこと」領域については課題がある。
  - 漢字の読み書きについてはほぼ県平均を上回った。「お年玉を貯金する」本校100%(県98.5%) 「先生にそうだんする」:本校82.6%(県64.2%)
  - 4.65+0.3の計算は、県平均をかなり上回った。:本校89.1%(県77.1%)

県(中学校)

- 国語、社会、数学、理科については県平均を下回った。
- 国語では、「太陽の光をアビる」は、県の正答率を14ポイント上回っているが、一文を二文に分けて書く問題では県平均を下回った。
- 社会では、税金について「消費税」と答える問題で県正答率を下回っていた。
- 数学では、量と測定の領域については課題があった。
- 理科では、活用問題に課題があった。

【学習状況調査の結果】

- 全国(小学校)
- 平日にテレビ等を1時間以上見る児童の割合は県平均より高い。
  - 平日の家庭での学習時間(1時間以上)の割合が県平均と比べてかなり低い。
  - 平日の読書時間(1時間以上)の割合は、県平均と比べてかなり高い。
  - 今すんでいる地域の行事に参加している割合が県平均よりかなり高い。
  - 将来の夢や希望を持っていると答えた児童の割合が県平均よりかなり高い。

県(中学校)

- 平日にテレビ等を1時間以上見る生徒の割合は県平均より低い。
- 平日の家庭での学習時間(1時間以上)の割合が県平均に比べて低い。
- 全員が「学校の宿題をしている」と答えた。
- 「読書は好きだ」という項目に肯定的な生徒が県平均より多い。
- 「近所の人にあつたときは、あいさつをしている」の項目が県平均より高い。
- 今すんでいる地域の行事に参加している割合が県平均よりかなり高い。
- 「自分にはよいところがあると思う」児童生徒の割合が昨年に比べてかなり高くなった。

成果と課題

- 国語A・算数Aともに正答率の高い児童が増えたが、逆に低い児童もいる。(二極化)
- 「あいさつ」の項目が県平均より高くなった。
- 「自分にはよいところがある」と回答した児童が増えた。
- 将来の夢や希望を持っていると答えた児童の割合が県平均よりかなり高い。
- どの教科においても、活用型の問題や記述式の問題を苦手としている。
- 理科・社会の基礎的・基本的事項の定着が不十分な児童が多い。
- 平日に1時間以上、家庭学習をしている児童が少ない。

課題に対応した改善方法

- 朝学習において問題データベース・到達度確認テスト・読解力テスト等のプリントを活用し基礎・活用問題に取り組む。
- 4～6年生児童に対し、学力・学習状況調査、学力定着状況たしかめテスト自校採点の間違ひ直しを個別に行う。
- 問題データベースの「100マストレーニング」を活用し学校全体で九九強化の取り組みを行う。(1年生は、たし算・ひき算)
- 小中連携の取り組みの1つとして、西中学校ブロックで一斉にノーマディア週間の取り組みを行う。
- 学期に1回「宿題忘れ0週間」を設定し、家庭学習の習慣化を図る。
- 児童会を中心に「あいさつがんばり隊」を組織したり、「あいさつがんばり週間」を設定したりする。
- 教職員全員で、「向陽プライド」構築のための指導を徹底し、児童の自己肯定感を高める。

取組の検証方法及び検証時期(2学期末及び年度末)

- 小4に学力定着状況たしかめテストの過去問題の実施(10月)
- 小5に学力定着状況たしかめテストの過去問題の実施(10月)全国学力・学習状況調査の過去問題の実施(2月)
- 小6に岡山県学力・学習状況調査の過去問題の実施(2月)
- 学校生活アンケートの実施(学期ごと)
- 「△△ウィーク」を設定し、朝学習の充実を図る。

各校の具体的な達成目標(数値目標等)

- 国語A、算数Aの平均正答率で県平均を上回る。
- 「近所の人にあつたときは、あいさつをしている」と回答する児童の割合を95%以上にする。
- 「自分にはよいところがあると思う」と回答する児童の割合を増やす。